

2024年8月1日

## 2023（令和5）年度に係る業務執行状況の確認結果について

国立大学法人豊橋技術科学大学学長選考・監察会議

国立大学法人豊橋技術科学大学学長選考・監察会議規則第4条第2項の規定に基づく、2023年度に係る学長の業務執行状況の確認結果について、下記のとおり公表します。

### 【確認結果】

寺嶋学長は、学長選考基準に掲げる資質・能力を存分に発揮し、大学憲章に掲げる教育・研究・国際化等の目標達成に向け、所信表明で示した取組に対し、以下のとおり熱意を持って遂行している。

管理運営面においては、ダイバーシティの推進に熱心に取り組み、「PRIDE 指標 2023」の「シルバー認定」及び「豊橋市子育て応援企業認定」を取得したほか、財務・人事の一体化による10年先を見通した予算編成のために、予算委員会を新たに設置し、教職員への財務状況の見える化に取り組んだうえで、国等によるプロジェクトの情報共有による外部資金の獲得体制を構築し、昨今の厳しい財政状況への対応を行っている。また、開学50周年に係る各委員会・専門部会を立ち上げ、学内外で募金活動を行っているほか、ブランディングアドバイザーを活用した広報戦略の見直しを行い、開学50周年に向けて精力的に取り組んでいる。

教育の面では、優秀な学生の獲得のため、学部3年次編入合格者数基本方針の検討を開始し、アントレプレナー教育の充実化、CPS教育・デジタル教育・ダイバーシティ教育・グリーンテクノロジー教育の科目の2024年度導入に向けた準備を進め、リベラルアーツ教育の見直し、及び女子学生獲得に向けた検討を主導した。なお、日経HR「価値ある大学2023-2024就職力ランキング」の採用を増やしたい大学にて全国1位になる等、中期計画に掲げる社会の多様な方面で活躍できる人材養成における成果が見られる。

研究の面では、補助事業の継続事業の確実な推進を進めたほか、教育研究組織整備に採択され、次世代半導体・センサ科学研究所の拡充を進めたことを始め、RAC組織の改革の検討、「東海地域・国立大学連携プラットフォーム（C-FRONT）」（当時の名称。現在は「東海・信州 国立大学連携プラットフォーム（C2-FRONT）」）、に参画する等、研究力の一層の充実を図っている。

地域連携の面では、新サテライトオフィスの利便性向上のための改善策の検討を行っており、知の探究講座や東三河防災カレッジをはじめとした市民向けの各種講座を継続実施したほか、豊橋市も参画している愛知県のSTATION Aiプロジェクトに有識者メンバーとして参画して、地域のスタートアップ事業を支援するなど、地域との連携を着実に強めている。

国際化の面では、マレーシア海外拠点（ペナン校）が開設10周年を迎え、現地ステークホルダーとのパートナーシップを強化、長らくコロナ禍で停滞していたプログラムを再開・新設し、ペナン校を活用して、スマート農業に関する国際共同研究、海外実務訓練の実施、高専生向けグローバルサマーキャンプ、長期インターンシップ等の実施をはじめとした、教育・研究の国際連携を進めている。

以上のことから、大学の管理運営、教育、研究、地域連携・社会貢献、国際化等について、精力的に各種事業を実施していることが認められる。

なお、監事による業務の実施状況に係る監査においても、特に指摘すべき事項は認められなかった。

これらにより、学長の業務執行状況について、特に問題がないことを確認した。

**【確認内容】**

1. 確認方法等の根拠

「国立大学法人豊橋技術科学大学学長の業務執行状況の確認及び業績評価に係る取扱いについて（平成 27 年 6 月 22 日国立大学法人豊橋技術科学大学学長選考会議決定）」

2. 対象年度：2023 年度

3. 業務執行状況の確認資料

- ・学長選考基準
- ・所信表明書
- ・監査報告書
- ・学長代行作成資料

4. 確認プロセス

2024 年度第 2 回学長選考・監察会議（2024 年 6 月 28 日）

- ・学長代行からの説明及び質疑応答
- ・監事との意見交換